

平成30年度事業報告

社会福祉法人 札幌会

平成30年度における社会福祉法人札幌会の事業運営及び会務の運営について、次のとおり報告いたします。

平成30年度の事業は、理事会・評議員会で承認された事業計画に基づき、経営する施設・事業所において、利用者の権利擁護に努めながら多様なニーズに基づいた福祉サービスの提供を心がけ、各種の事業を計画どおり収めることができました。

「法人版働き方改革」の一環として、従来の就業規則の全面改正を行い、法人内の・施設・事業所での勤務時間の標準化、滞りがちだった職員の人事異動を活発に行うことによる組織の活性化、職員の昇格及び新たな役職の導入に伴う昇任など法人としての新しい「人事管理制度」の整備に着手をした一年でした。

昨今、あらゆる業界で人手不足がいわれる中、初任給の大幅な引き上げや新たな手当の創設など給与規程の大幅な見直しと求人媒体を通じての創意工夫による新規卒者の採用活動により、ほぼ計画通りの採用者数の確保につなげることができました。このことにより、比較的余裕をもった職員体制は、次年度における、より良い利用者支援につながるものと思います。

昨年9月6日未明の「北海道胆振東部地震」では、厚真町や安平町を中心に甚大な被害が発生し、今まで経験したことのない北海道全域でのブラックアウトにより、停電と建物によっては断水が続く、通信手段の遮断、公共交通機関は二日間にわたっての運休となり、通所系の事業所は休園を余儀なくされました。幸い、法人の施設・事業所においては、大きな被害はありませんでしたが、今回の体験から、改めて日頃からの災害に備える体制を考えるとともに備蓄等を準備していく機会となりました。

また、長年の懸案であった菊水ワークセンターに隣接する土地（1125㎡92）を札幌市から購入し、平成31年度の国庫・札幌市補助金によるグループホームの新築整備を中核とした複合施設の整備のための事前協議書を札幌市に提出し、札幌市とのヒアリングも済ませ、次年度には、複合施設整備に向けての着工に目途がつけました。

次年度も地域における拠点施設・事業所としての機能を高め、利用者の皆さんの権利擁護を根底に置きながら、日々の支援を大切に、それぞれの「自立」に向けての支援を行なってまいります。

【会務の運営】

（１）理事会の開催状況

第1回理事会（通算第195回）

- ①日 時 平成30年5月31日（木）
- ②場 所 札幌第一ホテル 2F ときわ

- ③審議事項 議案第1号 平成29年度事業報告に関する件
議案第2号 平成29年度決算報告に関する件
議案第3号 平成29年度決算監査報告に関する件
議案第4号 給与規程改正のデザインに関する件
議案第5号 札幌市有地の購入に関する件

第2回理事会（通算第196回）

- ①日 時 平成30年6月27日（水）
②場 所 札幌第一ホテル 1F しらかば
③審議事項 議案第1号 就業規則の一部改正に関する件
議案第2号 給与規程の改正に関する件
議案第3号 市有財産売買契約書の締結に関する件
議案第4号 理事長専決事項の報告に関する件

第3回理事会（通算第197回）

- ①日 時 平成30年8月25日（土）
②場 所 札幌第一ホテル 2F にしき
③審議事項 議案第1号 役員報酬規程の改正に関する件
議案第2号 基本財産の編入及び定款変更に関する件
議案第3号 平成31年度障がい者グループホーム・地域生活サービス基盤整備に係る事前協議書の提出に関する件
議案第4号 理事長専決事項の報告に関する件

第4回理事会（通算第198回）

- ①日 時 平成30年12月15日（金）
②場 所 札幌第一ホテル 2F こぶし
③審議事項 議案第1号 平成30年度上半期の経理執行状況に関する件

第5回理事会（通算第199回）

- ①日 時 平成31年2月22日（金）
②場 所 札幌第一ホテル 2F ふよう
③審議事項 議案第1号 給与規程・就業規則の改正に関する件
議案第2号 利用者預り金管理規程の改正に関する件

第6回理事会（通算第200回）

- ①日 時 平成31年3月20日（金）
②場 所 札幌第一ホテル 2F ときわ
③審議事項 議案第1号 平成30年度補正予算（案）に関する件
議案第2号 2019年度事業計画（案）に関する件
議案第3号 2019年度予算（案）に関する件
議案第4号 評議員会の議案に関する件

(2) 評議員会の開催状況

定時評議員会（通算第101回）

- ①日 時 平成30年6月27日（水）
- ②場 所 札幌第一ホテル 2F しらかば
- ③審議事項 議案第1号 平成29年度事業報告に関する件
議案第2号 平成29年度決算報告に関する件
議案第3号 平成29年度決算監査報告に関する件
議案第4号 札幌市有地の購入に関する件
議案第5号 就業規則の一部改正に関する件
議案第6号 給与規程の改正に関する件
議案第7号 理事長専決事項の報告に関する件

第1回評議員会（通算第102回）

- ①日 時 平成30年8月25日（土）
- ②場 所 札幌第一ホテル 2F にしき
- ③審議事項 議案第1号 役員報酬規程の改正に関する件
議案第2号 基本財産の編入及び定款変更に関する件
議案第3号 平成31年度障がい者グループホーム・地域生活サービス基盤整備に係る事前協議書の提出に関する件
議案第4号 理事長専決事項の報告に関する件

第2回評議員会（通算第103回）

- ①日 時 平成31年3月30日（水）
- ②場 所 札幌第一ホテル 2F ときわ
- ③審議事項 議案第1号 平成30年度補正予算（案）に関する件
議案第2号 2019年度事業計画（案）に関する件
議案第3号 2019年度予算（案）に関する件

(4) 監事監査の実施

- 第1回目 平成30年 5月24日（平成29年度決算経理状況に関する監査）
- 第2回目 平成30年 9月28日（利用者預かり金の管理状況に関する監査）
- 第3回目 平成30年12月12日（平成30年度上半期経理状況に関する監査）
- 第4回目 平成31年 3月 7日（利用者預かり金の管理状況に関する監査）

(5) 末永公認会計士事務所による会計監査の実施

- 第1回目 平成30年 5月15日（平成29年度財務諸表・財産目録）
- 第2回目 平成30年11月13日（平成30年度上半期の財務諸表）

(6) 北海道及び札幌市の監査指導・実地指導

平成30年 7月18日 札北荘（入所）・札北荘（通所）・法人～札幌市監査指導室
平成30年 8月31日 札幌市社会自立センター業務財務検査～札幌市障がい福祉課
平成30年11月 7日 月形町花の里こども園～空知振興局保健環境部保健福祉室
平成30年11月22日 つきがた友朋の丘～空知振興局保健環境部社会福祉課
平成31年 1月28日 白石かがやき園～札幌市障がい福祉課

(7) 事業の経営

<障がい者支援施設の経営>

- (1) 札北荘～施設入所支援／定員30名・生活介護／定員40名
- (2) つきがた友朋の丘～施設入所支援／定員40名・生活介護／定員40名

<障がい福祉サービス事業の経営>

- (1) 札北荘・通所（生活介護）～定員60名
- (2) 札北荘・通所（就労継続支援B型）～定員10名
- (3) さつきたそう/ゆめくる（生活介護）～定員40名
- (4) さつきたそう/ゆめきた（生活介護）～定員20名
- (5) ワークサポートいぶ樹（生活介護）～定員10名
- (6) ワークサポートいぶ樹（就労継続支援B型）～定員10名
- (7) 札幌市社会自立センター（就労継続支援A型）～定員30名
- (8) 菊水ワークセンター（生活介護）～定員40名
- (9) 菊水ワークセンター/ライラック・スズラン（就労継続支援B型）～定員34名
- (10) 菊水ワークセンター/スズラン（就労移行支援）～定員6名
- (11) 白石かがやき園（生活介護）～定員55名
- (12) 白石かがやき園/こもれび（就労継続支援B型）～定員15名

<短期入所事業の経営>

- (1) 札北荘～定員10名/日
- (2) つきがた友朋の丘～定員4名/日
- (3) 白石かがやき園～定員3名/日
- (4) グループホーム「コスモス」～定員1名（空床型）

<共同生活援助の経営>

- (1) あじさい（あじさい・ミモザ・アカシア・陽だまり・すずらん・ウィズ）
～定員56名
- (2) のばら（のばら・たんぽぽ）～定員14名
- (3) ひまわり（ひまわり・コスモス・あっぷる）～定員15名
- (4) 大樹（大樹・ゆう樹・風樹・松籟荘）～定員22名
- (5) ピース（ピース・さくら）～定員20名

(6) すまいる(すまいる)～定員10名

＜居宅介護事業所の経営＞

(1) ライフサポートあんりー(居宅介護・行動援護・重度訪問介護)

＜相談支援事業の経営＞

(1) 相談室あいりす(特定相談支援・一般相談支援)

＜有償運送事業の実施＞

(1) ライフサポートあんりー

(2) つきがた友朋の丘

＜市町村事業事業の実施＞

(1) 移動支援事業(ライフサポートあんりー・つきがた友朋の丘)

(2) 日中一時支援事業(札北荘・ゆめくる・菊水ワークセンター・白石かがやき園)

＜保育所の経営＞

(1) 月形町認定花の里こども園～定員80名

(2) 子育て支援センター(しろくまちゃん～2才以上、年間25回実施・利用数延113組)

子育て支援センター(こぐまちゃん～0・1才、年間3回実施・利用数延5組)

(3) 一時的保育事業(半日利用～延14名・全日利用～延113名/うち町外73名)

(8) 補助金の事前協議

[国庫・札幌市補助金]

・グループホーム等新築工事

補助金申請額 35,100,000円(総事業費 524,324,000円)

※グループホーム・ショートステイ・就労事業・カフェ・法人事務局等複合施設

平成30年度 菊水ワーセンター 事業報告

1. 総括

平成30年度の事業は、当初計画に基づき進めてまいりました。

生活介護事業においては、「働く」、「楽しむ」、「心と身体を整える」という3つを活動の柱とし、作業活動の他に運動や創作活動、レクリエーション活動に力を入れ、身体機能の維持とメリハリのある活動展開を行いました。ここ数年来、利用者の加齢といった実情を踏まえての活動転換が充実してきたことが利用率の高さからもうかがい知ることが出来ます。

就労継続支援B型であるライラック、スズランにおいては、その事業の性格上工賃の向上を目指すべくお互いが連携し委託作業を中心にしつつも大口のスポット作業、図書館清掃など安定的な収入を確保することが出来たことで平均工賃を増額することができ、利用者のさらなる向上心へと繋がっています。

就労移行支援事業においては、基本的に事業所内での作業活動、企業見学、企業での体験実習等のプログラムを実践していく中、3名の方が一般企業への就職につながっています。定員6名規模の事業所としては十分な実績といえ、確実にこれまでの取り組みが実を結んできていると考えられます。

余暇支援においては、これまで生活介護と就労事業を一体的に行ってきましたが、今年度は事業所ごとのニーズに即した活動を展開してきました。より手厚く充実した内容となり余暇のマンネリ化も解消することが出来ています。今後は、さらに少人数化することにより利用者個々の楽しみの充実につなげたいと思います。

保護者会活動においては、保護者の高齢化に伴い、負担感のない活動へと要望が聞かれていたため、保護者会との協議を行い活動の頻度を控えてきました。しかし、年度後半より保護者より情報交換の場として保護者同士の交流の場を設けてほしいとの意見も聞かれていたことから、今後は別の形での開催も検討してきたいと考えています

2. 利用者状況

事業所	種別	定員	現員	解除	契約	日中一時
菊水ワークセンター	生活介護	40	47	1	0	1
ライラック	就労B型	18	19	2	0	0
スズラン	就労B型	16	16	0	0	1
	就労移行	6	2	3	0	0

3. 主な活動や行事

＜平成30年度の主な活動＞

月	活動内容	月	活動内容
4月	保護者会総会	11月	インフルエンザ予防接種
	日帰り旅行	12月	クリスマス会
5月	健康診断		お疲れ様会
6月	一泊旅行①	1月	成人式・新年会
	すすらんピクニック泊旅行		各事業所新年会
7月	一泊旅行②	2月	合同研修会
10月	一泊旅行③		ボウリング大会

4 販売状況

- ・「いこーる」「元気ショップ」等の福祉ショップや白石区役所、国立がんセンターの売店の協力を得て販売を行っています。
- ・札幌市で行われたパープルリボン運動や空知グルメフォンドなどのイベントより大量注文を受けしており、多くの皆様に商品を知って頂く機会となり好評を得ていました。また、「夢市場厚別」「ナイスハート in アリオ札幌」、多くのイベント夏祭り等に出品しており、利用者も積極的に販売活動に参加する事が出来ています。
- ・ぐるっほ活動～札幌近郊の福祉事業所が協力、連携をし、授産製品のPR、販路の拡大を目指して地下歩行空間や区民センターでのイベント広場での販売活動を定期的に実施。

5. 地域との交流

町内の夏祭り（菊水夏祭り）では、町内会や子供会、児童会館等との連携を図りながら、会場設営や当日運営を通し、共にイベントを盛り上げています。

菊水ワークセンターの増築計画に向けて、町内会との意見交換の場を設けるなどし、地域に必要とされるニーズの理解に努めながら進めています。

6.実習生・ボランティア及び見学者等受け入れ

＜平成30年度の実習生・ボランティア及び見学者等受け入れ＞

事業所	現場実習		教育実習	インターン	ボランティア	見学者
	中学生	高校生	専門・短大・大学	シップ（大学）		
菊水ワークセンター	13人	2人	3人	4人	延108人	82件
ライラック	7人	0人	0人	0人	延5人	19件
スズラン	1人	2人	1人	2人	延349人	23件
合計	21人	4人	4人	6人	延462人	124件

今年度より、実習、ボランティアの他に、インターンシップを開催し福祉の現場に関心のある大学生の受け入れを行い、職場体験の場を学生に提供するとともに、人材の確保に繋げている。

平成 30 年度 札北荘 事業報告

1. 総括

平成 30 年度札北荘全体で定員 110 名に対し、129 名でスタートしました。毎年多くの利用者が札北荘での活動を希望されていますが、定員は飽和状態です。特に入所については、毎日の様に「空き状況」の問い合わせがあることから、支援施設の重要性は肌で感じることができます。支援者の配置については、入所で 1.7：1 の、通所では 5：1 の体制を確保し手厚い体制の支援継続がされています。

入所は限られた空間の中で工夫を凝らしそれぞれの居室作りを、手摺の取り付けや家具の更新を行いました。GHでは、北海道の夏も暑さ厳しいことからエアコンの設置の実施。日中活動では土曜日稼働をスタートし、月日数－8 日のサービスが提供可能となる体制を確立しました。以前の土曜日が休みのスタイルが多い利用者は、そのままお休みの形ですが、出勤率は想定していた以上に高いものでした。少しでも利用者ニーズに応えられたかと推測できます。活動全般を通して「楽しむ活動」を目指し、各エリアで創意工夫が感じられた印象があります。今後も大切な要件になりそうです。

今年度は秋口に台風被害（椎茸ハウスの飛散）と、北海道胆振東部地震の発生（札幌市北区震度 5）によりブラックアウトを経験しました。幸いにして人的被害もありませんでしたが、防災・減災対策については大きな課題を残しました。安全管理と緊急対策の手段方法等事業所全体で協議、準備する体制を整備することが必要です。

施設整備においては、裏地畑部分の砥石敷詰工事（駐車場の拡大）と、交流ホーム内の床や遮光カーテンの更新を行いました。計画的に進めてきた施設整備も入所の暖房設備、交流ホームのWCの更新等が来期の予定で準備を進めます。

次年度も支援者間のチームワークを大切にし、支援技術や知識の向上に努めると共に、利用者の方々には社会参加に繋がる活動の提供を、それぞれの個性を尊重した支援にあたっていきたいと思います。

2. 利用者状況（平成 31 年 3 月 31 日現在）

		定員	現員	備 考
札 北 荘	施設入所支援	30	31	
	生活介護	40	48	
	日中一時支援			実員 32 名 延べ 631 名
	短期入所	10		実員 57 名 延べ 1,791 名
札北荘（通所）	生活介護	60	67	
	就労継続支援 B	10	10	
GHあじさい	共同生活援助	56	56	
GHすまいる	共同生活援助	10	10	

3. 行事や主な活動

6/3 すずらんピック（陸上競技、FD等）、6/16 スポーツF e s（新光小G）
9/1 札北祭（収穫祭改め、園庭）、12/22 クリスマス会（ガトーキングダム札幌）
1/13 新年会・成人式（ロイトン札幌）
日中活動班での班レクの実施（6/11～10/19の中で9回の開催）等

4. 健康・安全管理

健康診断の実施（6月）、インフルエンザ予防接種（11月）
防災講和受講（6月 北消防署予防課）
避難訓練の実施（6月、10月は検証訓練として実施。10月については、総務省、
北海道科学大学、札幌市消防局の立会（6名）で実施する）
各GH単位での避難訓練の実施（それぞれのエリアで年間2回）
札幌市知的障がい福祉協会防災訓練への参加（3月）（受け入れ施設側として参加）

5. 販売関係

新光夏祭り、新琴似西祭り、百合が原地区センター販売、新川西中祭への参加 等
法人施設祭典への参加及び販売
元気ショップ、萌木での常設販売
「カフェはなうた」での販売 等

6. 地域交流活動・ボランティア活動等

町内会関係との交流会参加及び地域夏祭りへの協力、参加
北区介護予防センターへ、クリスマスプレゼント（陽だまり石鹸他）の用意
ボランティア関係（各種施設行事のお手伝い 延べ4名のご協力）
保護者会関係（畑の草取りや環境整備等 延べ19名のご協力）
見学者（本体及び各GH）については、各特別支援学校及び近隣中学校（特支）の保護者、社会福祉法人関係者等 多くの方に見学していただきました。

7. 実習関係

教育実習（体験） 光塩学園女子短期大学部他 10校より 21名の受入れ
現場実習（特支） 新川中学校、新琴似北中学校 2校より 2名の受入れ
職場体験実習（社会福祉施設体験 4名の受け入れ）

8. その他

9/5 台風被害（椎茸ハウス近隣住宅への飛散・施設賠償保険対応）
9/6 北海道胆振東部地震 北区震度5弱 建物及び人的被害なし

平成30年度 白石かがやき園 事業報告

1. 総括

平成30年度も当初の事業計画に基づき無事に終了することができました。

昨年、地震災害に見舞われましたが、停電以外の被害もなく二日間の休園の他、給食会社の協力により早期の再開ができましたが、停電の際、オール電化のグループホームではその備えと対策の課題が浮き彫りとなり、改めて本体も含めその対策と防災設備を次年度整備していかなければならないと思います。

今年度も充実した日中活動の提供を重点を置き、作業活動班を核に軽作業、余暇活動、運動活動等を計画通りに進められました。特に年間行事やセレクト外出などプログラムの内容と経験の幅を広げるよう外出時間帯を考慮し、リフレッシュした中で進められました。日中活動の柱である班活動もメリハリのある活動で展開しましたが、就労支援Bのリースキン作業が時期的な波がある中で納品に追われる状況もありましたので、今後の様子をみながら連携の強化など対応が求められてくると思いますが、反面収入も増えたことで、ボーナスとして還元されたことでは仕事への喜び意欲につながったことと思います。支援の中核である職員集団の資質向上と業務遂行で大切な支援の柱や統一性というあたりでは、職員・ケース会議の場を有効に活用し研修や業務確認も図られてきました。そこでは、権利擁護やリスクマネジメントに関しても議論され、利用者が安心安全、健康に過ごされるよう努めてきましたが、その成果も見られました。今年度特に給食関係では、年に2回のバイキング形式での食事提供をしましたが、普段の食事内容や雰囲気も異なり大変好評でしたが、リクエストメニューやセレクトメニューも加えると充実した提供がなされています。Café「みなくる」では、引き続き学生ボランティアに来ていただいたことで利用者の皆さんも楽しみに参加していました。施設整備ですが、今年度も大規模な改修はありませんが、老朽化した食堂のイスや2階カーペットの入れ替えを行い環境を整えましたが、今後、外壁や雪庇対策等の検討が必要となります。

次年度も「働く」「楽しむ」「健康」の三本柱で充実した地域生活を支えていきたいと思っています。

2. 利用者状況（平成30年3月31日現在）

- ・本体施設（生活介護）定員数 55 名 契約解除 1 名 現員数 58 名
- ・こもれび（就労継続B型）定員数 15 名現員数 17 名・短期入所事業【定員3名】年利用延人数429人
- ・施設外職業体験実習（こもれび利用者1名実施）：実習先：菊水ワークセンター・すすらん

3. 主な活動と行事

今年度も活動内容を検討しながら、利用者が楽しめる行事・余暇活動を実施しました。

【主な行事と活動内容】

※アフター（アフターサークル）

ル）

5月 ：定期健康診断/アフター1回4人/イッテ JOY（映画）12人	6月 ：すすらんピック（水泳/陸上/FD/BRに参加）/避難訓練 /イッテ JOY 19人/アフター3回13人	7月 ：イッテ JOY（プール）13人/アフター3回10人	8月 ：かがやき祭/アフター3回11人 /プール1回10人
9月 ：嘱託医検診/アフター2回8人	10月 ：イッテ JOY（千歳空港）16人：インフルエンザ予防接種/アフター5回22人	11月 ：ライオンズクラブボーリング大会/夜間避難訓練実施（短期棟）/アフター1回4人	12月 ：クリスマス会 1月 ：成人式・新年会（2名新成人）

上記の他、各活動班ごとに「日帰りリクリエーション」を企画、実施しております。

【その他の支援活動】

・送迎サービス延利用者～27、383名

・イブニングサービス（延長）～2件

4. 販売

・いこーる ・元気ショップ ・ぴあとぴあ祭、心のリカバリーセンター祭（近隣地域）
託）

他、関係機関及び法人施設等のイベント販売

6. 実習生・ボランティアの受け入れ

5. 地域との交流

・老人クラブへ集会所開放とかがやき祭への参加
柏町内会かがやき祭参加、白石東公園清掃（委託）

・近隣4施設合同職員研修会：今年度未実施

7. 見学・訪問

・教育実習生 4校：14名

・ボランティア（Café、お祭り等）延17名

・延べ、42名

8. 相談 2件

平成 30 年度 月形町認定こども園花の里こども園事業報告

1. 総括

今年度は 65 名でスタートしました。定員から見ると少ない利用数ではありますが、昨年度と比べると利用数は安定しており、年度後半では、定員に近づいていました。

保育内容では、乳児では、身体的発達、社会的発達、精神的発達を目標に環境に配慮し、ゆったりとおだやかな生活の中で、発達を目指してきました。1, 2 歳児は、周囲の大人やお友達、又、様々な環境に触れ、言語を獲得し、表現力も豊かに育ってきました。3, 4, 5 歳児では、ご領域に沿っての教育を目標に保育計画を立ててきました。今年度より英語活動として英語教諭資格をもっている職員による「えいごのじかん」を各クラスで月に 1 回行いました。楽しく外国語に触れるということで、小学校から始まる英語の授業の導入として捉えられる機会となっています。

衛生面では、ノロウイルスの流行がありました。園内での嘔吐により、拡大してしまったものと考えられますので、消毒、清掃、園児の体調管理に引き続き重点を置いていきます。

統合保育では、発達上気になることでの、保護者へのアプローチをはじめ、教育委員会、各関係機関と連携してきたことにより、就学時、特別支援教室の利用にこぎつけることができました。また、自閉的傾向の園児の利用も増え、今後も各関係機関としっかりと連携していかなければなりません。

2. 利用者状況

【延べ在籍 838 名】

定員 80 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ人数
在籍（1日付）	65	64	69	69	67	68	68	72	72	73	74	76	838
入園（その月の2日～翌月1日）		5			1		4		1	1	2	1	15
退園（その月の2日～翌月1日）	1			2								3	6

○延長保育（2号3号認定55名中）利用数：17名 延べ66回

○預かり保育（1号認定21名中）利用数：21名 延べ1129回

3. 主な活動や行事

○入園・進級式 4月2日（月）新入園7名、進級児58名

○サケの放流会 4月17日（火）知来乙あそび塾、須部都川 年長児21名 引率3名 参加

○子どもの日おあつまり 5月2日（水）全園児参加 ○春の保育参観 5月25日（金）保護者39名参観

○ひまわり組 JR 体験（石狩月形⇒石狩太美⇒あいあい公園）6月1日（金）年長児 21名、引率2名

○田植え体験（麻生 森河さんの田んぼ）6月5日（火）10:00～11:30 年長児 21名

○3,4,5 歳児親子遠足（キッズスクエアちっくる《秩父別町》）6月8日（金）親子51組参加

○オーボエ・ピアノ コンサート（友朋の丘）6月19日（火）10:30～11:30 4, 5 歳児35名

○ばら組 JR 体験（石狩月形⇒新十津川⇒浦臼⇒鶴沼公園）7月23日（月）4 歳児 20名、引率3名

○ひまわり組プールあそび（月形町総合体育館プール）ひまわり組14名、引率2名 計6回

○年長お泊り会（園内）7月14日（土）～15日（日） ひまわり組21名

○うみあそび（厚田望来海水浴場）5歳児7月20日（金）21名、引率6名 / 4 歳児7月27日（金）14名、引率6名

○花の里なつまつり（多目的研修センター）ノロウイルス流行のため、中止

○ふれあい大学体育大会8月28日（火）9:30～10:30 4,5 歳児 35名参加

○運動会（多目的アリーナ）9月15日（土）園児68名、保護者、祖父母等およそ170名、来賓19名、ボランティア16名

○卒園児同窓会（平成29年度卒園）参加人数 13名

○秋の遠足（円山動物園）9月28日（金）3 歳児16名、引率4名、10月5日（金）4, 5 歳児35名、引率6名

○2 歳児すずらん組親子遠足（円山動物園）10月12日（金）2 歳児7名、保護者7名、引率4名

○いねかり（麻生 森河さんの田んぼ）10月15日（月）ひまわり組21名

○秋の保育参観 10月13日（土）保護者31名参観 ○やきいも 10月31日（水）園児71名

○幼年消防クラブ防火タオル配付（藤の園）10月18日（木）年長ひまわり組21名

○保育発表会（花の里こども園ホール）11月18日（日）園児72名、参観者数195名、来賓15名

○札幌社会見学、JR 体験（青少年科学館）11月22日（金）年長ひまわり組21名 引率4名

○和太鼓フェスティバル 12月7日（金）年長ひまわり組 21名 北海若衆太鼓メンバー9名 観客者数およそ60名
 ○もちつき 12月13日（木）全園児 ○サンタさんへのクッキーづくり 12月20日（木）3、4、5歳児 51名
 ○クリスマス会 12月22日（土）全園児 72名、サンタクロース 1名
 ○新年のおあつまり 1月11日（金）全園児 73名 年長祖父母 19名参加 ○役場訪問 1月24日（木）年長 19名（2名欠席）
 ○節分のおあつまり 2月1日（金）全園児 74名、おに 2人 ○花の里ゆきまつり 2月13日（金）園児 74名
 ○リズム発表会 2月15日（金）全園児 76名、参観者数 およそ80名
 ○おにぎりパーティー（お米作りから）2月20日（水）年長ひまわり組 21名
 ○お茶会 2月26日（火）年長ひまわり組 21名 ○ひなまつり 3月1日（金）全園児 76名
 ○お別れティーパーティー 3月8日（金）年長ひまわり組 21名 保護者 21名
 ○第3回 卒園式 3月17日（日）卒園児 21名、3、4歳児 30名、保護者 65名、来賓 19名、職員 21名
 ○おたのしみ会：毎月実施 ○避難訓練：毎月実施 ○クラス懇談会：年2回 参加保護者数 延べ62名
 夜の時間帯ということもあり、参加者が減ってきている。次年度は、形式を変え、より多くの保護者に参加してもらう。
 ○個人面談：年2回 ○避難訓練：火災訓練年間12回、総合訓練（地震火災）年間1回
 ○外部講師による保育活動

- *世界のじかん（外国文化活動）講師：コ・ジェイソン先生 3、4、5歳児各クラス4回、合計12回
- *からだのじかん（身体発達活動）講師：石井 唯 先生 3、4、5歳児各クラス4回、合計12回
- クラス活動でのからだのじかんは、各クラス月1回行う。

4. 地域との交流

・サケの飼育、放流・交通安全パレード・公共交通機関利用体験・ふれあい大学（高齢者）運動会、学園祭参加・合同芸術鑑賞・雪の聖母園祭・町民文化祭・月形町役場見学・給食試食会・幼年消防クラブ-月形藤の園訪問・防火パレード・

5. 学校との連携

・学校行事出席・月形小学校 1 学年授業参観・小学校との引継ぎ（児童要録送付）

6. 保育実習・体験実習・就労体験・ボランティア

〈実習、就業体験〉月形学園就労体験・月形高校就業体験・月形中学校保育園訪問・保育実習

〈ボランティア〉運動会（高校生、専門短大生）・ゆきまつり（月形町役場職員労働組合青年女性部の皆様、南さん、森河さん）

7. 職員研修

園内研修 ・リズムあそび研修 4月25日（水）19:30～20:30 花の里こども園ホール 参加職員 11名
 ・感染症予防対策研修 5月23日（水）19:30～20:30 花の里こども園ホール 参加職員 11名
 ・救命救急講習会 6月13日（水）18:30～19:30 花の里こども園ホール 参加職員 11名

園外研修 道社協 ・新任保育士研修 5月17～18日 柴田 美晴・障がい児保育担当保育士研修 7月5～6日 岡崎 のどか・保育士専門研修 7月11～12日 坂口 真耶・保育士専門研修 9月5～6日 芦野 つぐみ

日本保育協会 総会・研修 5月11日 豊田 揺子・全国認定こども園協会 総会、研修 5月30日 豊田 揺子
 こどものとも社 増山ゼミ 4/10、6/19、8/7、10/23 進藤 はるか
 こどものとも社 保育実践セミナー 4/24、7/17、9/18、11/20 竹内 寿朗
 日本幼年教育研究会 サマースクール 7月30～31日 若井 新吾、堀田 侑里
 チャイルド サマーセミナー 8月7日 辻 環、加藤 智子
 北海道教育庁 幼児教育を語る会 6月30日 芦野 つぐみ、富野 一代、皆川 真奈美
 学校安全教室推進会議 防犯教室 10月19日 豊田 揺子

8. 見 学、訪問 延べ 228 名

内 訳	見学	体験・実習	取材	相談	打ち合わせ	行事	その他	合計
	54	19	3	3	39	104	6	228

平成 30 年度 子育て支援センター『みどりのたね』事業報告

1. 総括

今年度は、数多く子育て支援センターに足を運んでもらえるよう、「おやこDEキッチン」「たのしい☆えいご」「お父さんの子育て会議」など新しい活動を増やしてきました。子育て家庭が減っているため、利用する家庭は、減ってきていますが、足を運んでいただける回数を増やすことができました。次年度も、気軽に来られる雰囲気や楽しく遊べる環境づくりを行い、子育て家庭が、孤立することなく、子ども同士であそんだり、保護者同士が、顔を合わせて、話し合える場となるよう計画していきます。

子育て相談では、特別に相談のみで、来園することは少ないですが、あそびの広場等で来園した際に、様々な相談を持たれていることが多いので、今後も引き出していけるような関わりをしていきます。

また、子育て講演会では、著名な方に来ていただいたことで、年配の方も、興味をもってきていただき、町ぐるみで子育てを意識できる機会になりました。

2. しろくまちゃん『あそびの広場』

1 年を通して、様々な活動を行ってきました。なつまつりが感染症の関係で、中止になってしまったのは、残念でしたが、それぞれの季節に応じた活動を行ってきました。

計 31 回 延べ 121 組

3. こぐまちゃん『あそびの広場』

0 歳児対象なので、まだ、家の中であそぶことが多い子どもたちですが、回数を増やすことによって、センターに足を運ぶ機会も多くなり、お母さん同士楽しく会話をし、子育てへの自信につなげていくという姿も見られました。 計 10 回 延べ 40 組

4. お母さんのおしゃべりカフェ

今年度より回数を増やして、行ないました。各回テーマを設けて、話し合うことにより、お母さん同士、共感したり、刺激を受けあったり、有意義な時間となりました。お子様を預けられるということも、ちょっと一息つける良い時間になっています。

- ・ 6 月 8 日 『子ども理想の未来』 4 名
- ・ 8 月 20 日 『子どものゲーム体験』 3 名
- ・ 10 月 15 日 『リース作り』 6 名
- ・ 12 月 7 日 『運動あそび』 4 名
- ・ 3 月 11 日 『褒め言葉のシャワー』 4 名

5. おやこ DE キッチン

今年度初めて、計画した食育です。子どもたちが喜んで、簡単に作れるクッキングを計画しました。親子で一緒にクッキングを楽しみ、皆さんで、楽しく食べました。

- ・ 7 月 13 日 『じゃがいもガレット』 7 組
- ・ 9 月 7 日 『さつまいも春巻き』 中止
- ・ 11 月 9 日 『スイーツ春巻き』 4 組
- ・ 1 月 18 日 『動物スイートポテト』 3 組

6. たのしい☆えいご

同年齢の 2 歳児すずらん組と一緒に、英語教諭による、あそびを通して、英語に親しむ英語活動を実施しました。同じテーマを繰り返す行うことによって、より親しみやすい環境で行えました。園児と一緒に行うことで、より、大勢の集団を経験できています。

- ・ 6 月 25 日 『色』 1 組
- ・ 7 月 23 日 『色』 3 組
- ・ 8 月 27 日 『動物』 4 組
- ・ 9 月 10 日 『動物』 2 組
- ・ 10 月 26 日 『数字』 3 組
- ・ 11 月 19 日 『数字』 1 組
- ・ 12 月 17 日 『形』 2 組
- ・ 1 月 28 日 『形』 5 組
- ・ 2 月 18 日 『身体のパーツ』 4 組
- ・ 3 月 18 日 『身体のパーツ』 2 組

7. お父さんの子育て会議

初めての開催でした。お父さんが参加するものは、最近では初めての活動でしたが、多くのお父さんに参加してもらうことができました。時間が足りなかったという声も聞こえ、次回は時間配分も配慮して計画したいと思います。 ・10月19日 参加者 15名

8. 子育て相談

相談件数 27件（子どもの発達・生活習慣など）開放利用など、ほぼ、園に遊びに来たときの相談でした。

9. 子育て講演会 参加者 41名

ラジオパーソナリティーの金子耕武氏に来ていただけたことで、ラジオを日頃から聞いているお母さん世代、おばあちゃん世代と幅広い年齢層の方に来ていただきました。花の里こども園に足を運んだことのない方も足を運んでいただき、子育てに地域の多くの方が興味を持っていただけたことは、大変有意義な時間になったと思います。

日 時 平成31年2月14日（水） 14:00～15:30

場 所 多目的研修センター

講 師 HBC ラジオパーソナリティー 金子耕武氏

テーマ 『この時代の家庭と子育てに必要なこと』

10. 絵本の貸し出し 32冊

絵本が数多くあるので、親子で楽しい時間を共有していただけるように次年度も呼びかけていきます。

11. 支援センターの利用 108組 延べ269名利用

まだ、センターに訪れたことがない子育て家庭の方もいらっしゃいますので、IP告知のみに限らず、保健師さんにも声をかけていただくなど、積極的に宣伝していきます。

平成30年度 さつきたそう ゆめくる・ゆめきた 事業報告

1. 総括

平成30年度はゆめくる42名（定員40名）、ゆめきた19名（定員20名）、総計61名（定員60名）でのスタートとなりました。過去さつきたそうで積み重ねてきた様々な活動内容や支援方法を再確認し、更に活動プログラムの内容充実に努め支援の質の向上を図ることを考えながら進めています。委託作業（タオルの畳み、箱折り等の下請け作業）、作品制作（和紙作品、木工作品）、各種運動プログラムやレクリエーション活動等、いくつかの活動の柱を作りながら、より充実した活動を目指してきました。夏季には今年度もゆめきた裏に畑をお借りし野菜を栽培、収穫に至るまでの過程に取り組んでいただき、「食」の楽しみにつなげることもできました。地域での活動といった面では、市からの近隣公園の清掃委託作業も請け負い、利用者さんの健康活動とリンクさせながら進めています。その活動の裏付けや意味合い等も整理しながら提供してきましたが、その一方で環境的に手狭な部分があり活動の制約を受けるのと、より活動内容を細分化して利用者個々人に合った支援方法を模索するなどの面では少々不足した部分も認められるところでした。障がい特性や身体的な状況を加味するなど専門性に裏打ちされた支援方法を充実させていきたいという部分では、今後の課題にも繋がる部分かと思っています。

また、30年度からは施設の土曜稼働も始まり、週末ということで作業活動等は行わず、お楽しみ（レク）活動の日として進めてきました。平日と比較すると若干参加者は少なくなりますが、参加された皆さんについては、楽しみながら参加されています。特に季節感のあるバーベキューや餅つきは「食」の楽しみと、日常と異なる屋外での過ごし方も良い刺激になったのではと思います。また、外部のボランティアさんに来ていただき、紙芝居や楽器演奏などを披露していただきました。季節を感じられるような催しや外部の方と触れ合う機会は定期的に設定していく必要があると感じています。

支援の質を担保するための取り組みとして、内外問わず各種研修への参加や勉強会を実施してきました。特に権利擁護、とりわけ虐待防止に関する事項は事業所全体で重ねて確認してきました。具体的な支援内容の部分では、利用者個人の状況に応じた適切な支援を組めるよう、ケース会議や保護者の方との面談等を通じニーズ確認は都度行っています。余暇支援では温泉入浴や公園散策、季節行事としてのお花見や調理、モノ作り等々の各種活動を進めてきました。今後も生活介護の本分を踏まえつつ、基本的な支援を含めながらこのような楽しみある活動も続けていきたいと思っています。

施設設備については、ゆめくる1階の活動スペースに間仕切りとなるカーテンを設置し、一つのフロアを多目的に使えるようにしました。元々手狭感がある建物ですが、引き続き今ある状況の中で工夫しながら少しでも活動し易い環境整備をしていきます。

保護者や地域、関係機関との連携といった部分では、年1回のみに留まってしまいましたが、保護者茶話会を実施、行事写真をスライドで見えていただいたり、情報共有や保護者同士のコミュニケーションの場として開催しています。普段向き合って話す機会が少ない中、職員にとっても貴重な時間であり、今後も継続していきます。（年2回を予定）実習生やボランティアの受け入れも行ってきましたが、受け入れ人数としては少なく、ゆめくる・ゆめきた共に受け入れ人数を増やし、事業所の地域貢献や社会資源の一つとしての認識も踏まえながら運営していきたいと考えます。また、近隣の福祉事業所や学校関係にあいさつ回りをし、単独通勤している利用者さんの状況などもお伝えし、理解と協力を仰ぐということもしてきました。地域の中で顔の見える関係づくりも引き続き継続したいと思います。

今後も利用者の方が日々の活動の中で、「充実感」や「楽しみ」をもちながら利用していただけるよう、

また同時に事業所として質の高い支援を提供できるように配慮していきたいと思います。

2. 利用者状況（平成30年4月1日現在）

定 員	現員（男性）	現員（女性）	計	合 計
ゆめくる	27名	15名	42名	61名
ゆめきた	9名	10名	19名	

3. 行事や活動

- ・行事 6月スズランピック、スポーツフェス 9月札幌祭 12月クリスマス会 1月成人式、新年会
- ・日帰り旅行（班レク）→ 小樽方面 千歳方面 定山溪方面 札幌市内

4. 健康、安全管理

- ・健康診断の実施（6・10月） ・避難訓練の実施（5月、10月） ・インフルエンザ予防接種（11月）

5. 実習、ボランティア

- ・教育実習 計 3校 5名 ・現場実習 計1校 1名 ・ボランティア16名（楽器演奏他）
- ・見学 計14名（利用相談等含む 高等養護学校保護者・ご本人・教師等）

6. 研修関連（30年度外部研修一覧）

4月26日（木）自閉研 初任者研修	千葉和樹、山崎法子
5月21日（月）～22日（火）30年度全道施設長セミナー	岡本篤志
6月28日（木） 札幌市知的障がい福祉協会	千葉和樹、櫻庭奈津美
7月4日（水）～5日（木） 道知的障がい関係支援員研修	福士 正樹
7月2日（月）～7月3日（火）障がい関係施設長会議（全国）	岡本篤志
7月18・19日 8月22・23日 行動援護従業者養成研修	清野俊樹
7月23日（月）摂食及び嚥下に関する基礎研修	山崎法子
7月28日（土）～29日（日）全道育成会	櫻庭奈津美
8月8日（水）権利擁護セミナー	吉野龍次郎
8月17日（金）福祉施設等における社会貢献を考える研修	山崎法子
8月21日（火）平成30年度救急法セミナー	岡崎慎司
8月24日（金）平成30年度救急法セミナー	福士正樹
9月18日（火）～19日（水）平成30年度日中活動支援部会職員研修会	澤田恭子
10月8日（月祝）発達障害のある子を支える大人たち	山崎法子
10月15・16・17・18日 行動援護従業者養成研修	山崎法子
10月17日（水）～18日（木）全道知的障がい関係職員研究大会	千葉和樹
10月18日（木）～19日（金）相談支援従事者研修	石山直樹
11月8・9・15・16日 行動援護従業者養成研修	福士正樹
11月14日（水）～16日（金）全国施設職員研究大会（山口）	岡崎慎司
11月29日（木）～30日（金）日中活動支援部会横浜大会	山崎法子
2月15日（金）札幌市知的障がい福祉協会職員研修会	工藤 愛
2月23日（土）～24日（日）全国育成会大会（京都）	吉野龍次郎
2月26日（火）～28日（木）北海道サービス管理責任者研修（介護）	石山直樹

平成 30 年度事業報告書

つきがた友朋の丘、ワークサポートいぶ樹、グループホーム大樹

1、 総括

平成30年度の活動は、当初の事業計画に基づき下記の通り実施してまいりました。

<つきがた友朋の丘～入所施設>

つきがた友朋の丘においては、利用者の平均年齢が43, 8歳、入所最高齢は65歳、若い方は21歳と年齢差も大きくなっています。加齢に伴い身体機能の低下や、医療受診の増加が顕著となっています。平成30年は入所利用者1名が病気によりお亡くなりになり、また様々な障害特性への対応が増し、個別の支援体制を整えながら対応してまいりました。利用者の高齢化に伴い、保護者もまた高齢となり、今まで以上に連絡、確認を慎重に行っており、交信記録として残しています。帰省などに伴う送迎についても希望が増加していることもあり随時対応しています。また、懇親会や交流会などを企画し、保護者との関係作りに取り組んできました。生活介護事業所としての取り組みとして、入浴、排泄、機能訓練等の支援を強化しています。食事においては栄養マネジメントを行い、体調を維持することや楽しみのある食事支援を重視し行ってきました。

余暇活動においては、集団での外出から小集団もしくは個別での活動を中心に行うことで、個々のペースや嗜好に答えられるように提供してきました。

支援者のスキルアップとして研修会への参加を積極的に行っています。また、施設内での研修環境を整えて、行動障害等へ適切な対応がとることが出来るように、チームで検討しています。特に強度行動障害（基礎・実践）研修、サビ管研修などは今後も施設の配置上必要となるものであり継続して受講していきます。

<ワークサポートいぶ樹～通所施設>

通所独自の活動に加えて入所施設の外活動（花き栽培、野菜栽培、椎茸栽培）を共同で行うなど幅広く活動を展開してきました。平均年齢45, 5歳と入所同様に加齢に伴い様々な疾病を抱えている方も多くみられ、その都度支援者、看護師の打ち合わせをし、医療相談などの対応をしています。日中活動においては地域活動（花壇の整備やゴミ拾いなど）へ積極的に参加をし、地域貢献の活動となっています。

ベーカリーにおいては、町のパン屋さんとして定着がされていますが、町内での需要が減少してきており、今後生産工程や販売品、販売先の見直しなどを含めて、より効率的な生産及び特色のあるパンの販売を行ってまいります。また、非常用の缶詰パンの製造を強化していきたいと考えております。

＜グループホーム大樹＞

地域生活を感じていただけるよう、月形町内の施設などを利用することで、地域住民との交流などを深めています。また、個々の希望に応じた外出も取り入れてきています。健康状態の把握に力を入れて、その都度必要に応じて受診を行っています。GHゆう樹の建物老朽化に伴い、月形地区での今後の地域生活体制を見直す時期にきています。

2. 利用者状況（平成30年2月28日現在）

◇つきがた友朋の丘	施設入所支援	定員 40 名	現員 40 名
	生活介護事業	定員 40 名	現員 43 名
	ショートステイ	定員 4 名	現員 2 名
◇ワークサポートいぶ樹	就労継続支援B型	定員 10 名	現員 10 名
	生活介護事業	定員 10 名	現員 12 名
◇グループホーム大樹		定員 22 名	現員 22 名

3. 主な行事及び活動

＜合同行事及び活動＞

地域交流行事「友朋祭」、保護者会との共催行事「交流会」、「一泊旅行」、「クリスマス・忘年会」は入所、通所合同での行事として行っています。

◇オーボエ&ピアノコンサート（6／19）

◇ 友朋祭（中止） ◇交流会（6／9） ◇クリスマス・忘年会（12／21）

◇ 一泊旅行北湯沢（6／21～22、7／19～20、9／20～21）～同じコースを3回に分けて実施しています。

◇ 札幌会ティーボール大会（中止）

＜つきがた友朋の丘＞

◇ 行事活動

- ・ 日帰り旅行（5／25） ・セレクト外出（カラオケ、温泉、ランチ買い物他）
- ・ 味覚クラブ（7／19、10／18、3／22） ・もちつき会（12／6）
- ・ こむ木屋食会

※ その他、生活支援係、余暇支援係、自治会係などそれぞれ季節行事や誕生日リクエストメニューなど随時実施しています。

◇ 日中活動

- ・ 花畑～花き栽培（シクラメン、観葉植物など）、野菜栽培（ジャガイモ、カボチャ、ミニトマト、そばなど）
- ・ 椎茸～椎茸栽培、管理
- ・ はあと～室内活動にてさをり織り、フェルト加工、自立課題
- ・ デイすずらん～リハビリ、軽運動、情操活動など

<いぶ樹>

◇ 行事活動

- ・ 日帰り旅行～小樽方面（１０／５）
- ・ 慰労会（３／２２）
- ・ 昼食会（８／３）

◇ 日中活動

- ・ 生活介護～和紙作り、畑作業、環境整備など
- ・ 就労Ｂ～パン製造販売、衛生センターゴミ分別、交流センター清掃など

<GH大樹>

◇ 行事活動

◇ 友愛祭り（９／２３） こむ木昼食会（１０／６・７）

- ・ 利用者の希望等を踏まえて各ホームの余暇支援、通院支援、個別ニーズへの対応。

4. 販売活動など

<平成 30 年度日中活動売上総括>

入所	生活介護活動収入	559,505
	計	559,505
通所	生活介護活動収入	670,960
	生活介護活動収入(こむ木)	1,387,852
	B 型活動収入(ベーカリー)	9,049,277
	B 型活動収入(交流センター清掃)	505,440
	B 型活動収入(こむ木ホールスタッフ)	106,000
	B 型活動収入(衛生センター)	881,280
	計	12,600,809
	合計	13,160,314

※ 入所の事業であるこむ木の活動は、季節限定の店舗運営として定着してきている。地域貢献につながる事業としても継続していきたい。

※ 通所においてはパンの原料高騰化のため、価格の見直しと、利用者さんの高齢化により作業工程の検討が必要となってくる。

※ 町内各施設や関係団体等のイベントにて販売の機会をいただいている。（藤の園園遊会、雪の聖母園祭、各施設保護者会にて販売）

5. 地域交流、地域貢献活動

◇ 町内会活動～地域交流ホームの開放（つきがた友朋の丘）、道路清掃及び花壇の植栽及び美化管理（ワークサポートいぶ樹）

- ◇町内各種イベント（樺戸神社祭り、月形交流会、月形夏祭り、ボランティアセンター祭、町民文化祭、新年交礼会等）への利用者参加及び職員スタッフの派遣
- ◇社会福祉協議会、商工会、消防団を始め、町内関係機関等への職員スタッフの派遣

6. 短期入所事業

○利用延べ件数 3件 ○利用延べ日数 110日（2／28まで）

7. 実習生、ボランティアなど

◇実習・職場就業体験

○専門学校実習 6名 ○月形高校 6名 ○月形中 7名

◇ボランティア

○日赤奉仕団 ○月形町役場親和会

◇見学者 つきがた友朋の丘 2名、ワークサポートいぶ樹 2名

◇相談 つきがた友朋の丘件 2件

平成 30 年度 ライフサポートあんりー 事業報告

1. 総括

当事業所は、札幌親会が運営する事業所の利用者を中心に、余暇活動や健康活動支援など、居宅介護事業全般を運営しています。ここ数年において、多岐に渡るニーズに応えるべく職員の増員、労働環境の整備、財政健全化に努めてまいりましたが、当年度においても今一步至らない状況となっています。

当年度は4月より常勤23名非常勤2名の計25名で開始し、3月までに常勤21名非常勤6名と増員して、非常勤職員の比率を増やしてまいりました。結果としては経営的にも運営的にも状況は改善しましたが、車両運転業務や資格要件のハードルが高く、求人になかなか応募が無い状況の中で綱渡りの運営であったと考えています。

また、これまで多岐に渡るニーズに応えるよう、最大限の調整を行ってきましたが、車両の無償提供やサービス区分（行動援護・移動支援等）を問わないサービスの提供に限界も見え始めております。ヒヤリハット・事故報告についてですが全体で77件、うち忘れ物や紛失など職員のうっかりした内容が54件、車両の破損等が4件、利用者の突発的な動き等による他害・物損が8件、転倒など利用者の怪我に結びつくものが11件となっていることです。忘れ物や紛失、車両の破損などは新採用職員の比率が高く、他害・物損・転倒などは身体介護の必要性が無く、職員1名体制でのサービスの提供中に発生しています。

今一度サービス区分・内容、提供の方法、手順を見直し、より安心で安全便利なサービス提供が出来るよう次年度の課題とします。

2. 活動実績

	居宅介護	行動援護	移動支援	パーソナル	件数月計	収入月計
4月	38件	336件	320件	11件	705件	7,092,419円
5月	37件	354件	321件	10件	722件	7,482,399円
6月	39件	356件	310件	12件	717件	7,228,663円
7月	39件	393件	326件	4件	762件	7,914,852円
8月	34件	374件	300件	8件	716件	7,472,803円
9月	27件	328件	252件	8件	615件	6,455,624円
10月	36件	404件	316件	9件	765件	8,035,365円
11月	34件	400件	295件	11件	740件	7,749,979円
12月	40件	349件	288件	7件	684件	7,437,902円
1月	37件	370件	289件	11件	707件	7,439,067円
2月	26件	355件	305件	26件	712件	7,438,501円
3月	33件	367件	327件	19件	746件	7,813,892円
合計	420件	4,386件	3,649件	136件	8,591件	89,561,466円

平成 30 年度 月形町認定こども園花の里こども園

一時的保育事業報告

1. 総括

今年度は、一時的保育の利用数が少ない年でした。理由としては、定期的に利用していた世帯が、入園になったことや、母親の出産で利用希望があったのですが、兄弟での利用でしたので、短期通常入所した方が保育料も安くなるということから、通常入所の申し込みとなったケースがあげられます。

子育て支援の利用から、一時的保育を利用される世帯もありますので、今後は、子育てから少し離れて、お母さん方のリフレッシュにつながるような利用も増えていくように働きかけていきます。

2. 利用数

半日利用…延べ 6 名

全日利用…延べ 0 名

3. 保育内容

一時保育担当保育士がつき、同年齢のクラスにて、他児と一緒に通常保育を行っています。

4. 保護者との連携

お迎えの際には、連絡票を使用し、児のあそびの様子や給食、排泄など生活面の様子等を口頭で、伝えてきました。

平成30年度 札幌市社会自立センター 事業報告

1. 総括

平成30年度事業は、札幌市公の施設に係る指定管理者の条例に基づき、当初の計画に沿って実施することが出来ました。今年度は平成30年4月から令和5年3月までの5年間の指定管理者の指定を受けた最初の年となりました。

設備の面においては、以前よりクリーニング事業の要であります給水ポンプの配管、地下水汲み上げポンプの経年劣化のための早急な交換工事を市当局に要望し、着工して頂きましたが、肝心の配管が外れず、間もなくポンプも壊れ、工事を一からやり直すこととなりました。その為、地下水を急遽水道水に切り替え対応し完全修復には6カ月以上費やし、その間の水道料の負担が膨大な額となりました。市当局の協力や特例事案として考慮して頂き乗り切ることができました。また、9月7日の台風と9月8日の北海道胆振東部地震の影響を受け、建物の至る所に小さな亀裂が生じ、パソコンサーバーが壊れ、洗濯ドラムのバランスが狂ったり、交通マヒによる出勤停止などで工場が正常に機能するには3～4日かかりました。また、屋上の煙突の陣笠が外れた件に関しては市当局により修繕して頂きました。

支援目標である「質の高い就労支援の提供と安定した収入の確保」、「健康で豊かな生活を送るための地域支援活動」においては、利用者一人一人が持てる力を十分発揮し、仕事にも生活にも意欲的に取り組めるよう、本人との面談などからニーズを把握し、それをしっかりと個別支援計画に反映させ相談支援事業所の職員、地域生活支援職員と連携を図り支援を行って来ました。

しかし、自立センターの利用者の平均年齢も44歳と高齢化現状の中で、工賃向上を目指し作業量を増やしていくことは体力的にも厳しいものがあります。仕事の能率化を考えると、マンパワーの必要性を強く感じ、今一度A型事業所の本来の在り方を考え直す時期が来ているように感じます。

就労事業においては、年間を通じて少しずつ受注量が増加し、前年度水準以上の収入を確保できました。年度末には今年度も昨年同様に期末手当の支給を行うことができ、今年度は給与も一人平均9万円台に届くようになりました。しかし、毎年上がる最賃への対応と労基署への最賃減額申請に関しては、思うようにいかず苦慮しております。

生活支援に関しては、今後も自治会の主体的な活動を支援し、希望に沿った余暇の提供と社会人としてのマナーや金銭管理の在り方など、一人一人が自主的に考え、行動できる機会を提供していきます。

次年度以降も利用者の主体性を尊重し、健康で生き生きと働ける職場環境の提供と就労支援、生活支援の充実に努めて行きたいと思っております。

2. 利用者状況（平成31年3月31日現在）

【現員 37名（男性25名・女性12名） 定員30名】

3. 実習生・介護体験・ボランティア・見学者数

	職場実習	職場体験	介護体験	環境ボランティア・他	見学者	相談受付件数
人 数	9名	1名	1名	91名	29名	2件

4. 行事・自治会活動

- ◎ 旅行 二泊旅行（ 東北方面） 8月 7日～ 9日 11名参加
 一泊旅行（ 登別方面） 8月25日～ 26日 18名参加
 日帰り旅行（ 余市方面） 9月 2日 7名参加
- ◎ 自治会主催 定期総会 4月11日（自立センター） 36名参加
 ワクワクナイト夏 7月 7日（北海道ピール園） 34名参加
 ワクワクナイト冬 12月14日（アサビール園） 33名
 ワクワクナイト春 （ボウリング・居酒屋・しゃぶしゃぶ温野菜など） 33名

5. 地域交流

- ◎ 札幌小学校祭り10月20日・札幌小学校卒業式3月20日・運営協議会 2月27日

平成30年度 相談室あいりす 事業報告

1. 総括

当事業所は札幌会が運営する事業所で希望する利用者を中心に計画相談を実施してきました。今年度末時点では札幌会を利用している約460名の利用者の中で437名が当事業所の計画相談を利用しています。

今年度は異動が有りましたが相談支援専門員4名体制（管理者含む）を継続し、必要書類の整理を行い、家庭訪問もアセスメント訪問・モニタリング訪問ともに概ね順調で、電話連絡などもスムーズに行えています。また、各事業所間との連携も図れており、計画相談のみならず親亡き後の生活への不安・余暇の充実・社会資源の活用などの基本相談の充実にも繋がってきています。その中では外部の事業所との連携も増え、法人内に留まらず利用者の利益に繋がるよう努めています。

加算について7月からサービス提供時モニタリング加算・9月から特定事業所加算Ⅱ2月から体制加算（行動障害支援・要医療児者支援・精神障害者支援）の算定を始めています。

研修等の勉強会についても札幌市自立支援協議会を始め、白石区地域部会・指定相談の集いやその他研修会に可能な範囲で参加し相談員の質の向上に取り組んでいます。

次年度に向けては報酬改正によるモニタリング訪問の増加と基本相談への対応の充実などを目標に相談員の増員と体制作りをしっかりと進めていきます。

2. 活動実績

	計画相談	モニタリング	合計件数	収入
4月	56件	33件	89件	1,640,551円
5月	20件	24件	44件	784,778円
6月	29件	28件	57件	1,059,139円
7月	23件	49件	72件	1,311,890円
8月	25件	39件	64件	1,185,960円
9月	22件	60件	82件	1,563,276円
10月	36件	23件	59件	1,166,403円
11月	35件	26件	61件	1,199,824円
12月	24件	33件	57件	1,099,712円
1月	32件	37件	69件	1,343,280円
2月	39件	31件	70件	1,384,858円
3月	36件	44件	80件	1,643,614円
合計	377件	427件	804件	15,383,285円